

■概要：

セキュリティ要件や要求レベルが製品分野毎に異なるIoT機器分野においては、つながる機器を単体としてではなく、システムとしてセキュリティを捉え検討する必要がある。そこで、分野横断的な視点で「つながる機器として最低限の要件(=IoT機器セキュリティ要件)」を定義し、一定のセキュリティ(安全性)を確保するために必要な脆弱性検証方法を策定する。

なお、「IoT機器セキュリティ要件」については最新版を情報公開し、検討メンバーのみならず、広く製品メーカーへの浸透を図ることを目標とする。

■活動内容：

- 1) 分野をまたがる最低限の要件(=IoT機器セキュリティ要件)を定義、更新を行う。
- 2) IoT機器セキュリティ要件をチェックする手法を定義、更新を行う。
- 3) レベル1及び、製品分野別レベル2以降のサーティフィケーションスキームの更新を行う(必要に応じて実施)。
- 4) 海外のIoTセキュリティに関するガイドライン、規格、基準の情報収集を行う。

■本年度ゴール：

- ・1)、2)については、2025年度の要件の策定及び、チェック手法(合格基準)の検討を行う。
- ・合格基準は、IoT機器の検査方法のガイドライン文書として公開を前提に検討を行う。
- ・分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームについて、最新版の要件との整合を検討する。

■参加者：

- ・主査：田久保(CCDS/マストトップ)、副査：積水ハウス、日立チャネルソリューションズ
- ・メンバー：積水ハウス、日立チャネルソリューションズ、オムロンソーシアルソリューション、富士ソフト、大日本印刷
- ※各WGの主査及び、CCDS指定検証事業者
- ・メンバー募集の有無：募集なし